

音楽芸能スタッフ科 照明コース
1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習 I（前期）	34	2	1
実習	分野別実習 I（後期）	34	2	1
講義	一般教養 I	68	2	4
講義	音楽史 I	68	2	4
講義	舞台知識 I	68	2	4
講義	PC知識 I	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識 I	68	2	4
実習	イクイップメント I	68	2	2
実習	照明 I	68	2	2
実習	CAD I	68	2	2
実習	デザイン I	68	2	2
演習	スタッフワーク基礎 I	68	2	4
演習	スタッフワーク応用 I	68	2	4
講義	業界知識 I	72	2	4
合計		888	26	42

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ステージ総合コース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>①企業に就職するために必要な知識とスキルを身に付けるための授業を行う。 ②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。 ③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。</p>					
到達目標					
<p>・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け将来の自分、自分の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングをできるようになる。 ・身だしなみ、挨拶の仕方や正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールなどビジネスマナーの応用知識を身につける。 ・就職活動における履歴書及びエントリーシートの完成度を高めるとともに面接対策なども実施する。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の第一印象は？、信頼印象力 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 4～7回目	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ
【前期】 8～10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語) ・敬語を使った自己紹介文作成
【前期】 11～13回目	<ul style="list-style-type: none"> ・電話対応。(かけ方、受け方、取り次ぎ方) ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 14～17回目	<ul style="list-style-type: none"> ■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 18～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアビジョン(自己分析) ・自己PR、志望動機作成
【後期】 21～24回目	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書作成 ・エントリーシート作成
【後期】 25～27回目	<ul style="list-style-type: none"> ・一般常識、SPI対策
【後期】 28～30回目	<ul style="list-style-type: none"> ・面接対策
【後期】 31～34回目	<ul style="list-style-type: none"> ■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ることで、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいかについて考え、自己成長につなげて行く。更に、キャリアビジョンについて考えることで自分の目標設定ができ、これからの学内での2年間をどのように過ごすのか、どういう姿勢で授業に取り組むのかを考えることができる。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ステージ総合コース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。近年ではNUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
<p>①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。</p> <p>②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。</p>					
到達目標					
<p>・音楽史を学ぶ事により、数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、それぞれの現場において、演者が目指すであろう音楽像を、様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や、技術提供を通して、音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。</p> <p>・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 5～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～11回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 12～14回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 15～18回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 19～21回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 22～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～37回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ステージ総合コース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
①情報リテラシーとして肖像権、パブリシティ権、著作権、知的財産権等についての講義をする。 ②表計算ソフト(EXCEL)を使って、資料を分析する問題(主に国家公務員試験の過去問を使用)を解く。 ③プレゼンテーションソフト(PowerPoint)の使い方を知るために、検定試験の問題を解く。					
到達目標					
①情報化社会におけるリテラシーを学び、ネット社会の光と影を学び、将来にわたり安全にネットを使えるようにする。 ②今後の仕事上、様々な場面で表計算ソフト(EXCEL)を使用することが多くなると予想されるので、その使い方の基本とどのように使えば良いのかの応用を学び、スムーズな社会生活を送れるようにする。 ③自分の意見や考え方を発表するプレゼンテーションをスムーズに出来るように、そのソフトPowerPointの使い方の基本を学び、将来に役立たせる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	著作権法の目的、著作物の要件、著作物の種類、著作者とは(著作者、共同著作)、職務著作、映画の著作者、著作者人格権、保護期間、著作隣接権、著作権侵害されたときの対処法
【前期】 4～7回目	「データ分析NO1(情報分析の仕方)」のテキスト:PART1 例1～例5
【前期】 8～10回目	「データ分析NO1(情報分析の仕方)」のテキスト:問1～問3
【前期】 11～13回目	「データ分析NO1(情報分析の仕方)」のテキスト:問4～問6
【前期】 14～17回目	「データ分析NO2(情報分析の仕方)」のテキスト:PART2 問7～問10
【後期】 18～20回目	「データ分析NO2(情報分析の仕方)」のテキスト: 問11～問14
【後期】 21～24回目	「データ分析NO2(情報分析の仕方)」のテキスト: 問15～問18
【後期】 25～27回目	「データ分析NO3(情報分析の仕方)」のテキスト: 問19～問22
【後期】 28～30回目	「データ分析NO2(情報分析の仕方)」のテキスト: 問23～問26
【後期】 31～34回目	プレゼンテーションソフトの使い方:検定試験の問題を解く
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	上記講義内容を基本としますが、IT社会の基本としての講義(光や色の三原色、音の基本、動画の基本など)を入れ込み広い知見を得られる授業にしていきます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/照明コース/ステージ総合コース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<p>■ドラムの講師、楽曲制作とアーティストの面から舞台音響、照明、シナリオ作成、舞台進行を行う。</p> <p>■SAX奏者として活躍後舞台音響技術者として活躍。公共ホールなどで舞台運営業務に従事する。</p>				
授業概要					
<p>①演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能など舞台業界裏方として会館、公共文化施設、ホール、演芸場、ライブハウス等への出入りの際最低限の電気に関する知識の習得、劇場、ホール等の舞台機構や公演製作等の基礎知識を学び舞台技術基礎を取り入れる事により現場でのコミュニケーションを円滑にし、優れた創造性の基盤をつくりあげる。</p>					
到達目標					
<p>・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け校外現場にも対応可能にし社会人として業界人として活躍出来るよう学習する。</p> <p>・実際に民間劇場での実習を行い様々な用語舞台設備等の確認、現場にて劇場等での電気に対する理解を深める。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	電気・電流に関する講義① ・電気と？
【前期】 4～7回目	電気・電流に関する講義② ・感電の恐怖及び対策。
【前期】 8～10回目	電気・電流に関する講義③ ・電気極性について。
【前期】 11～13回目	電気・電流に関する講義④ ・電流について。
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
【後期】 18～20回目	劇場舞台に関する講義① ・劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 21～24回目	劇場舞台に関する講義② ・劇場舞台照明電源について。
【後期】 25～27回目	劇場舞台に関する講義③ ・劇場舞台に必要な電気知識。
【後期】 28～30回目	劇場舞台に関する講義④ ・舞台全般電気知識を極める。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期講義での知識習得確認の為、穴埋め及び記述式の筆記試験で合否を決める。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	エンタメに関わる人材として安全面は最重要事項です。電気の特性を理解し、電気知識の学習にしっかりと励んで下さい。
備考	舞台技術の共通基礎

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明知識 I		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。□				
授業概要	舞台照明業務を行うために、舞台に必要な照明知識・照明技術を身につける				
到達目標	自ら率先して仕込みから本番オペレートまで完遂出来るようになる。また安全かつ適切にバラシまでできる人材を目標とする。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	仮説システムの照明の仕事① 概要説明。
【前期】 4～7回目	仮説システムの照明の仕事② 器具の吊り込み。
【前期】 8～10回目	仮説システムの照明の仕事③ システム。
【前期】 11～13回目	仮説システムの照明の仕事④ 安全対策、養生。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	劇場設備の学習 舞台構造、名称。
【後期】 21～24回目	劇場照明の学習 設備、名称。
【後期】 25～27回目	劇場照明の学習 仕込み。
【後期】 28～30回目	劇場照明の学習 撤収・劇場を使用する時のマナー。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	メインコンソールのオペレート技術を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明システム I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	イクイップメント I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かし照明システムに関する講義を行う。				
授業概要	<p>①電源ユニット、調光卓、灯体やその他周辺機器の安全かつ正しい取り扱い方法を学ぶ。総合的に照明のシステム構造を理解する事で、オペレート技術の向上にも反映していく。</p>				
到達目標	<p>・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して、ホール内や郊外研修で実践させる。</p> <p>・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 4～7回目	学校機材の説明、電源の説明。
【前期】 8～10回目	劇場の照明ボタンについての学習。
【前期】 11～13回目	劇場の照明ボタンについての学習。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	さまざまな機材の説明、学習。
【後期】 21～24回目	ムービングライトを中心にした機能の学習。
【後期】 25～27回目	照明全般のシステムを理解する。
【後期】 28～30回目	スモークマシンなど照明効果の為のアイテムの説明。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	照明の知識を習得することで自分自身のイメージを照明を通じて表現できるようになり、豊かな感性とデザイン力を養うことができます。
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	照明オペレートⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	照明Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	"福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。上記の経験を活かし電気と舞台全般における講義を行う。"□				
授業概要	<p>①電源の入れ方やパッチの手順などの基礎操作、メインコンソールのオペレート技術を身につける。</p> <p>②ピンスポットオペレーターやムービングスポットオペレーターとしての基礎的な技術を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>・学内の授業だけではなく、学外のコンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きや舞台構造を説明して、照明スタッフとしての基礎的な知識を習得する。</p> <p>・楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具現化出来るようなデザイン能力、操作能力を身につける。</p> <p>・知識だけでなく、現場での動き方やコミュニケーション能力の必要性を理解する。</p> <p>・照明関連企業が求める新人照明オペレーターに出来るだけ近づけるようにする。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践①
【前期】 4～7回目	仕込み作業の段取り、流れの説明と実践②
【前期】 8～10回目	シュート作業のレクチャー①
【前期】 11～13回目	シュート作業のレクチャー②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。仕込みから、シュート作業の「正確性」「機敏性」を問う。
【後期】 18～20回目	ピンスポットの組み立て、構造の基礎理解。
【後期】 21～24回目	ピンスポットの練習。
【後期】 25～27回目	ピンスポットのキュー作成。
【後期】 28～30回目	後期試験対策・総復習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を設定して、ピンスポットのキューを作成し、「操作」「正確性」を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 操作 / 正確性 / 機敏性」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	とにかく機材を触って照明を楽しみましょう。あとは、やってみたい灯りを作って音楽に合わせて灯りを出して楽しみましょう。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	CADオペレート I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	CAD I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	福岡で照明家として活動中。近年では、Tリーグ開幕シリーズ/ファイナルシリーズの照明デザインオペレート、福岡発アイドルグループ「LinQ」の専属照明オペレーターや、福岡よしもと新劇場における照明プランニング及び照明オペレート/音響オペレート/舞台監督を担当。 上記の経験を活かしCADオペレートの実技指導を行う。				
授業概要	<p>①CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び、舞台照明における仕込み図、平面図や立面図の製作を行う。</p> <p>②実際に様々なイベントの仕込み図を製作し、各シチュエーションにおける製作技術を身につけるとともに視覚的に照明の全体構造を理解する。</p>				
到達目標	<p>・CADソフト「Vectorworks」の基本操作を学び授業内で与えられた課題を指示通りに図面を作成して、仕込み図を完成できるようになる。同時にPCの使用法を学び、作業の正確性やショートカットを習得してスピーディーに図面作成することが出来るようにする。</p> <p>・作成を通じて、舞台照明における仕込み図、平面図、立面図の理解を深める。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	基本的なCADにおけるPCの使い方を把握する①
【前期】 4～7回目	基本的なCADにおけるPCの使い方を把握する②
【前期】 8～10回目	与えられた課題を図面に落として仕込み図を作成
【前期】 11～13回目	与えられた課題を図面に落として仕込み図を作成
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	舞台図面書き写し①
【後期】 21～24回目	舞台図面を書き写し②
【後期】 25～27回目	舞台図面を書き写し&照明図面を作成する①
【後期】 28～30回目	舞台図面を書き写し&照明図面を作成する②
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験を実施。課題を与え、CADソフトによる課題提出。提出した課題の内容の完成度から、授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分で照明図面を作成して、仕込み図面の見方を把握して現場でも役立てるよう図面は命。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	色彩デザイン I		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザイン I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	北九州ロックフェス、10神アクター、FREAK、B1長崎ヴェルカ等で経験したノウハウと、MV撮影、配信番組等で培った経験を伝えていきます。				
授業概要					
①「色はなぜ見えるのか」、「色を認識する人間の目の仕組み」、など根本的なところから、配色の基本的な考え方や色彩の心理的効果などを学び、照明として必要な色彩に関する知識を身につける。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・コンサートやイベントにおける照明スタッフとしての動きを説明して理解が出来るようになる。 ・カリキュラム終了時には一人のスタッフとしてカウントできる様なスキルを身につけ、楽曲のムード、演出意図を理解してそれを具体化出来るようなデザイン能力、操作能力を習得する。 ・LED(RGB)のカラーミックス、ポリカラー、LEEカラーを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	カラーフィルターの学習①
【前期】 4～7回目	カラーフィルターの学習②
【前期】 8～10回目	カラーフィルターの学習③
【前期】 11～13回目	色とそれに喚起される印象。
【前期】 14～17回目	■前期試験：現場での作業手順を質問化して筆記試験。
【後期】 18～20回目	LEDスポットの色表現の理論。
【後期】 21～24回目	ムービングスポットCMYカラーの理論。
【後期】 25～27回目	色温度の理解。
【後期】 28～30回目	カラーフィルターの取り扱い。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	この業界の未来のために目指してくれるみなさんにしっかりと基礎知識を伝えていきます。これからの夢があるエンタメの世界を勉強していきましょう！！
使用教科書	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社でコンサート照明業務に従事。コンサートにおける機材の設営、撤去、ピンスポットなどの本番オペレートを担当。現在はフリーランスとして活動中				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、搬入、ステージセッティング、楽器調整、サウンドチェック、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	工具や機材、ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 4～7回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 8～10回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 11～13回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期復習、照明機材の取り扱い① ピンスポットの仕組み
【後期】 21～24回目	照明機材の取り扱い② ピンスポットの使い方
【後期】 25～27回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 28～30回目	実践練習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実際の現場がどのように行われているかの流れや機材の特性を理解していきましょう
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク応用 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 照明コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	福岡の照明会社でコンサート照明業務に従事。コンサートにおける機材の設営、撤去、ピンスポットなどの本番オペレータを担当。現在はフリーランスとして活動中				
授業概要					
<p>①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、搬入、ステージセッティング、楽器調整、サウンドチェック、リハーサル、本番や撤収などのスタッフとして必要な実技能力を養う。</p> <p>②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施</p>					
到達目標					
<p>・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。</p> <p>・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	工具や機材、ホールの設備を理解して仕込み作業の練習①
【前期】 4～7回目	ホールの設備を理解して仕込み作業の練習②
【前期】 8～10回目	照明コントローラーの習得①
【前期】 11～13回目	照明コントローラーの習得②
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期復習、照明機材の取り扱い① ピンスポットの仕組み
【後期】 21～24回目	照明機材の取り扱い② ピンスポットの使い方
【後期】 25～27回目	照明コントローラーの習得③
【後期】 28～30回目	実践練習。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	実際の現場がどのように行われているかの流れや機材の特性を理解していきましょう
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンド I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PAコース/レコーディングコース/照明コース/ステージ総合コース/企画制作コース/マネージャーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。				
到達目標	<p>前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界 の仕事内容について学びます。</p> <p>後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。</p>				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事内容について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～17回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 18～20回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 21～24回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRAC の問題点 JASRAC の功罪などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 25～27回目	著作者に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 28～30回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 31～34回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。